

③ 本町クラブ

合宿の季節到来。暑い下界を忘れて今年も高原テニスを楽しみませんか。

下記により本町クラブのテニス合宿を行いますのでご案内いたします。

参加資格は自由です。(クラブ外の方、友人など)

(1) 日 時 8月25日(土)、26日(日)

(2) 場 所 中軽井沢

(3) ホテル “いこい山荘”

中軽井沢駅から徒歩10分

〒389-01 軽井沢町中軽井沢3365-2

TEL. 0267-45-5254

(4) 費 用 大人約15,000円(交通費除く)

(5) 申込みと詳しいことの間合せ先

佐藤 0425-62-2684

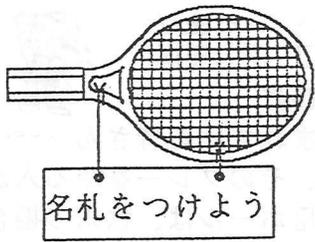
小山 0423-94-4854

坂井 0423-91-6778

(6) 申込みは 8月19日まで。

《本町クラブ合宿お世話グループ》

*****§



本井教室に参加して

美住クラブ 川田留美

7月7日、8日に行われた本井教室に初めて参加しました。ハードな練習が行われるという話を聞き、興味もあって旅行の予定を変更して参加する事にしました。初日の練習で感じた事は、説明がとてもわかりやすいという事。このところフォア、バックともうまく打てず悩んでいたのですが、フォロースルーは最後まで振り切るという話や、バックの打点の位置と体の向き方の話は、とてもためになりました。練習内容は基本練習を中心に行われましたが、実戦にあった動き方等を含め、とても楽しくまた内容の濃いものでした。それにも増して本井先生に直接ボール出しをしてもらうのは普通では経験できないものと思います。とても良い思い出になると思うし、また今後もこのような機会があれば、是非参加したいと思いました。

私はスクール育ち、現在もコーチについて週一ナイターで練習しています。以前は週四回通っていた事もありましたが、練習量も減ってきて、今ではなんとか現状維持するのが精一杯といったところです。外の試合も最近、全く出なくなっていました。

市民テニスに入って三年位になりますが、今まで一度も参加した事がなく、井上さんからコート取りの電話があったのをきっかけに5月の美住クラブの練習会に始まって、太田杯女子団体戦の参加、東久留米戦の参加、そして今回の本井教室の参加と、試合に練習にこれだけできる機会をもらってとてもうれしく思っています。市民テニスに参加するようになって、いろいろな人達と試合できる機会もできて、もう一度、気合いを入れてやってみようと思うようになりました。

これからもよろしくお願いします。

出逢い

恩多クラブ 川床 剛

今、NHK大河ドラマ「翔ぶが如く」が面白い。私の郷里、鹿児島が舞台になっているからでもあろう。

人間的魅力によって人の心をつかんだ西郷の「破壊の才」と現実の舞台で徹底して政治家であり続けた大久保の「建設の才」が、それぞれの時と場を得て幕末維新の大改革を成しとげていく様子が実に迫りに満ちたドラマとなっている。西郷の功績は、王政復古のクーデター、鳥羽・伏見の戦いにおける旧幕軍の撃破、軍事圧力の下での勝海舟との交渉による江戸無血開城の成功等武力倒幕の達成が表向きのものであるが、古い秩序が崩壊していく混乱の時期に寄せ集めの諸藩兵からなる混成部隊をよくまとめあげた指導者としての役割に私は西郷の人間的魅力を感じる。その西郷も江戸開城が終わるとあまり出番はない。

「破壊の時代」が終わって「建設の時代」に活躍するのは、大久保である。彼は岩倉使節団の副使として欧米先進諸国をじっくり見聞したことで、日本を外から見直す好機を得て国際的視野を広め、新しい国造りに力を注いだ。

彼は国家的立場に立ち、日本の近代国家としての建設事業を進めるが、相次いで発生する土族の反乱に対して断固とした武力鎮圧で臨んだため、今日、大久保のことを「独裁政治家」と評する向きもあり、私の出身地鹿児島でも今に至るまで西郷の絶大な人気にひきかえ、彼の人気はいまひとつ低調である。

西郷は明治10年西南戦争に敗れて世を去り、大久保もまた翌年テロに倒れた。

大久保の遺志はその後大隈重信・伊藤博文等に引き継がれ今日の我が国近代化の基礎造りの布石となった。

一方、西郷はその最後が特に悲劇的な死であっただけに、多くの人々にとってそれぞれのイメージで精神的拠りどころとなっている。西郷の豊かな人間味、広い包容力、深い情愛等に魅かれる独得の気質が我々日本人の血の中に流れているのであろう。

来年の大河ドラマは「太平記」が予定されているときく。「太平記」といえば、わが東村山も少なからず関わりがある。新田義貞軍が北条軍を久米川戦場に破り鎌倉街道沿いに幕府の本拠地に攻め入り源頼朝以来150年に及ぶ鎌倉幕府を滅したことで一層身近に感じる事となろう。久米川コートからの帰り道、武蔵野台の景色にはるかなる歴史を想うこのごろである。

世の歴史は人と人との出逢い、いろいろなものごととの出逢いによって造られていくが、人生もまた同じであろう。

東村山に住み、50才の手習いとして始めたテニスも私にとって一つの出逢いであり、この縁を大切にしていきたいと思っている。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 編集 後記 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

猛暑の折り、いかがお過ごしでしょうか、市民テの皆様には、暑中お見舞い申し上げます。「夏を制する者は、秋の大会を制する」という迷言があるかどうかわかりませんが、暑く、暑い日々を有効に過ごすことこそ良い結果が得られるに違いありません。がんばりましょう!!

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ M・N ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆